



「昭和100年」関連イベント 特別号

令和8年(2026年)は、昭和元年(1926年)から起算して満100年となります。

政府では、「昭和100年」関連施策として、地方公共団体や民間主体も含めて全国で取組を推進しており、法務史料展示室・メッセージギャラリーにおいても、本年10月から以下のイベントを予定しています。

本号は、「昭和100年」関連イベント特別号として、イベント予定の一部を御紹介いたします。

1 法務史料展示室・メッセージギャラリーの展示替え

既存の展示の一部を昭和期の法務省の歴史等に関する特集に展示替えします。

また、昭和期に民法法・刑事法の編さんに関わった先人たちの人物像、功績、法務省との関わり等についても特集します。

さらに、令和6年に放送された連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルとなった三淵嘉子が法曹界に名を残した人物の一人として紹介され、大好評であった企画「近代の法曹」を展示するほか、近時の法務省の施策等に関する、昭和期の特集も企画中です。



復原室



メッセージギャラリー

「近代の法曹」
パネル



三淵嘉子写真(明治大学史資料センター所蔵)

民法法・刑事法の編さんに関わった先人たち

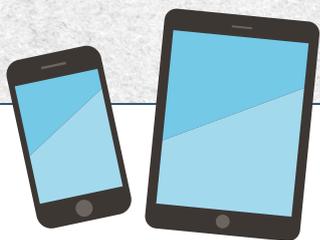
民法法

我妻 榮(民法)
鈴木竹雄(商法)
三ヶ月章(民事訴訟法)

刑事法

團藤重光
(刑法・刑事訴訟法)

法務省「昭和100年」 特設ポータルサイトの設置 2



サイトはスマートフォン・タブレット対応予定

法務省のホームページに「昭和100年」特設ポータルサイトを設置し、法務史料展示室・メッセージギャラリーで展示替えをした特集等を掲載し、閲覧いただけます。

【 法務史料展示室・メッセージギャラリーについて 】

今回、法務史料展示室だよりを初めて読まれる方もいらっしゃると思いますので、法務史料展示室・メッセージギャラリーについて改めて御紹介いたします。

法務史料展示室・メッセージギャラリーは、法務省赤れんが棟3階に位置し、明治の雰囲気を感じさせる復原室において「司法の近代化」をテーマに、明治期の近代法典の成り立ち、お雇い外国人の活躍、明治事件史などの史料を常設展示しています。

このほか、明治時代から残るれんが壁があり、「建築の近代化」をテーマに、文化遺産となっている赤れんが棟の建築技術に関する史料などを常設展示しているメッセージギャラリーを公開しています。



赤れんが棟

【 解説見学・その他展示について 】

公開日時等

公開日：月曜日～金曜日
(土日、祝日等はお休み)

公開時間：10:00～18:00
(入室は17:30まで)
※第3金曜日は10:00～16:00
(入室は15:30まで)

入場料：無料

所在地：東京都千代田区霞が関
1-1-1 法務省赤れんが棟

解説のための事前予約含め、
詳細は以下を御参照下さい。

法務史料展示室・
メッセージギャラリー
について
(法務省HP)



法務史料展示室は、どなたでも、予約不要・無料でこれら展示を楽しむことができます。

また、事前予約することで、学芸員による解説を受けることができますので、詳細は、左の二次元コードからアクセスして御確認下さい。

その他、法務省に関するクイズを楽しむことができたり、「虎に翼」のオープニングで主人公が着用していたものと同じ戦前の法服のレプリカの展示など、お子様から御年配の方まで、幅広い世代にわたって楽しむことができます。



クイズ機



法服

とっても楽しい
展示がいっぱい!



「昭和100年」
ポータルサイト
(内閣官房HP)

法務史料展示室・メッセージギャラリーは、国民の皆様
に司法制度、法務行政への理解を深めていただくため、様々
な展示・広報を行っています。

「昭和100年」特集展示につきましても、多くの国民の皆
様に楽しんでいただけるよう準備しておりますので、御来
室をお待ちしております。

※法務省「昭和100年」ポータルサイトも開設予定